

ーみんなで未来を育てようー

指揮者に学ぶリーダーシップと次世代への授業モデル



本日の第1部では『地球交響曲 第九番』に限らず、2020年8月2日、軽井沢の大賀ホールで、「コバケンと仲間たちオーケストラ」により演奏された「スメタナの『我が祖国』」より「モルダウ」の公開リハーサルを中心に上映いたします。

放映後（第2部）

- ・インタビュー
- ・参加者との対話
- ・お話とピアノの生演奏 など



2021年9月12日(日) 14時~16時
《開場 13:30》

早稲田奉仕園 スコットホール講堂
(築100年の早稲田教会礼拝堂 定員は200席の半数)

特別講師

小林研一郎

日本フィル桂冠名誉指揮者・ハンガリー国立フィル及び
名古屋フィル桂冠指揮者 読売日本交響楽団 特別客演指揮者
東京藝術大学・東京音楽大学名誉教授

企画・進行：羽田智恵子 早稲田大学公共政策研究所招聘研究員・途中塾代表理事

全自由席

開催にあたり、小林音楽研究所による多大なご尽力と、株式会社 Goolight（長野県須坂市のテレビ・インターネット・電話事業）、龍村仁事務所の皆様によるご協力に感謝申し上げます。

Special Thanks 小林音楽研究所 株式会社 Goolight 龍村仁事務所



小林研一郎

1940年福島県生まれ 東京藝術大学作曲科及び指揮科の両科を卒業
1974年第1回ブタベスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞
ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章
(民間人としては最高の勲章)を授与される 2011年文化庁長官賞受賞
2013年旭日中綬賞叙勲 2021年日本芸術院賞及び恩賜賞受賞
現在、日本フィル桂冠名誉指揮者・ハンガリー国立フィル及び
名古屋フィル桂冠指揮者 読売日本交響楽団 特別客演指揮者
東京都豊島区音楽監督 他
東京音楽大学名誉教授 東京藝術大学名誉教授
ハンガリー・リスト音楽院名誉教授

スメタナ Smetana※ 交響詩『我が祖国』第2曲 「モルダウ」について

(1874～79年の作曲)

この曲はチェコ最大のモルダウ川が上流から下流へと大河になっていく様子を
絵画的に描写したもので、主に7つの情景が描かれている。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ① 2つの川の源流 (1つの流れに) | ⑤ 聖ヨハネの急流と渦 |
| ② 森の狩猟 | ⑥ プラハの街へ (古城ヴィシェフラド) |
| ③ 村の結婚式と農民の踊り (ポルカ) | ⑦ プラハからドイツへ |
| ④ 月光と水の妖精の舞い | |

スメタナは自然の情景を表現しただけでなく、スラブの民族的な悲哀と将来への希望を託したと伝えられている。当時のチェコはオーストリア帝国の支配下にあり、祖国愛の強いスメタナが、侵略からの解放とスラブ民族の団結や文化の復活を求めて作曲したとされる。

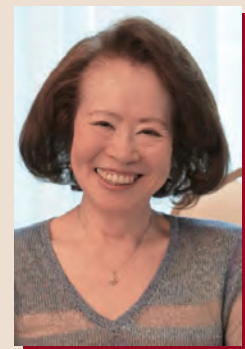
※「モルダウ」Die Moldau はドイツ語で、チェコ語では「ヴルタヴァ」Vltava と表現される。

※ スメタナ (1824-1884) チェコの作曲家・指揮者・ピアニスト

羽田智恵子 (企画・進行)

東京都庁で医療と保健政策部門の人事制度と職員育成に携わる。

40代で民間に転じ出版社の役員編集長。国際通信社を起業し世界のタウンニュースを配信。外務省・日本外交協会と海外安全 PT事務局長を12年
多様な国際情報をもとに日本人の表現力向上と学校再構築を研究 (早大院)
2006年 筑紫哲也さんを塾長に途中塾を開講し若いトップリーダーを育成。
早稲田大学 公共政策研究所招聘研究員 途中塾 代表理事



主催事務局

TEL : 090-9857-1599 (金子) mail : mynavi@suou.waseda.jp (公共政策研・羽田)
FAX : 03-3447-7372 三井住友銀行 五反田支店 普通 8477750 (一般社団法人 途中塾)

※当日は席を半数にする他、マスク着用、検温、消毒、窓を開ける換気などにご協力ください。